

『迫りくる巨大地震に備えて』

セミナー概要

【第1部】「大阪府北部地震から2年：忘れるべからず、近畿地方は「直下型地震の巣」

6名の尊い命を奪い、大都市の交通やライフラインの脆弱さを露見させた大阪北部地震から2年。「大阪では地震が少ない」ことは断じてありません。瀬戸内海はプレート運動が作った巨大な変形ゾーンであるため、近畿地方は活断層、そして直下型地震の密集域です。覚悟を持った備えが必要です。

【第2部】「地震リスクファイナンスとパラメトリック型ソリューション」

保険市場のハード化、保険料率引き上げ、保険条件の引き締め、そして保険会社の契約引受能力の低下傾向が加速する中、従来の地震保険プログラムを中心とする地震リスクファイナンスを補完する代替的なリスク移転手段としてパラメトリック型ソリューションをご紹介します。

開催要領

- 【1】日 時 **2021年3月8日（月）**
14:00 開始（入室開始 13:45） 15:40 終了予定
- 【2】会 場 Zoomウェビナーを使用しての開催となります。（アプリをダウンロードせず、ブラウザよりご参加いただくことも可能です。）
- 【3】参加対象 経営者、リスクマネジメント所管部門の方、損害保険のご担当者様等
（主に近畿地方に拠点を有する法人の皆様にお薦めします）
- 【4】定 員 **50名（先着順） 2021年3月1日（月）〆切**（定員になり次第締め切らせていただきます。）
- 【5】申込方法 共立インシュアランス・ブローカーズ(株)担当者あてメールにてお申し込み下さい。
☞視聴URL等、参加の詳細はセミナー開催の前週の金曜日（2021年3月5日（金））を
目途に、お申し込みのメールアドレスに送信いたします。

プログラム

- 【開会挨拶】 共立インシュアランス・ブローカーズ株式会社 常務執行役員 鶴島 貞正
- 【第1部】 「大阪府北部地震から2年：忘れるべからず、近畿地方は「直下型地震の巣」
14時5分～ 講師： 巽 好幸 神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス長
<休憩>
- 【第2部】 「地震リスクファイナンスとパラメトリック型ソリューション」
14時55分～ 講師： 岩崎 智哉 スイス・リー・インターナショナル・エスイー日本支店 ヘッド プロパティ

講師情報

▼巽 好幸 神戸大学高等研究院海共生研究アライアンス長

<経歴>

1954年大阪生まれ。京都大学総合人間学部教授、同大学院理学研究科教授、東京大学海洋研究所教授、海洋研究開発機構プログラムディレクター、神戸大学海洋底探査センター教授などを経て2020年4月から現職。水惑星地球の進化や超巨大噴火のメカニズムを「マグマ学」の視点で考えている。日本地質学会賞、日本火山学会賞、米国地球物理学連合ボーエン賞、井植文化賞などを受賞。主な一般向け著書に、『地球の中心で何が起きているのか』『富士山大噴火と阿蘇山大爆発』（幻冬舎新書）、『地震と噴火は必ず起こる』（新潮選書）、『なぜ地球だけに陸と海があるのか』『和食はなぜ美味しい - 日本列島の贈り物』（岩波書店）がある。テレビ番組NHKスペシャル『列島誕生 ジオ・ジャパン』などに出演。



▼岩崎 智哉 スイス・リー・インターナショナル・エスイー日本支店 ヘッド プロパティ&スペシャルティ ジャパン 東北大学 災害科学国際研究所 特任教授（客員）

<経歴>

東北大学博士課程都市・建築学博士後期課程修了 博士（地震工学）
専門は地震リスク評価および自然災害のリスクコンサルティング
博士課程修了後、リスクコンサルティング会社に企業リスクマネジメントを担当し、地震リスク評価や事業継続計画策定等のコンサルティングを数多く支援。現在は、世界的再保険グループのスイス・リー・インターナショナル・エスイー日本支店において地震などの自然災害や特殊リスクに係る保険引受の責任者として活躍中 また、東北大学からの要請を受け、2013年より同大学特任准教授としても活動（2020年4月より特任教授）

